

公益財団法人 幼少年教育研究所 / 編集 すずき出版

こはを育て、
考える力を育てる **ステップブック**
学期刊教材誌
年中版 / 年長版

保育記録 **新装版** 保育に携わるすべての人に...
保育記録のとり方・生かし方

公益財団法人 幼少年教育研究所 / 編著
税込2,420円 AB判・191頁 ISBN978-4-7902-7274-8
満3歳児～5歳児までの保育記録。計51事例を紹介。
豊富な事例には、さまざまな子どもの育ちを語り取り、
次の保育へとつなげていくヒントが満載です。

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-3-1 岩波書店アネックスビル5F
TEL:03-6272-8002 FAX:03-6272-8016 <https://suzuki-syuppan.com/>

ワンダーブック 幼少研の先生方が
編集ブレイクです

世界文化ワンダー
〒102-8192
東京都千代田区九段北4-2-29
☎ 03-3262-5128(営業)

KAWAI
もっと伝えたい、感動を。

株式会社 河合楽器製作所 東京オフィス 03-6718-4194
<http://www.kawai.co.jp/>

水性マーカー **ビッグマックス** 耐水性 不透明調

いろいろな素材にかけると、線の長と併用してもにじまない! 濃い色の線にもしっかり発色!

株式会社 サクラクワバス

幼少研の先生の本!

保育の事例で読みとく **3・4・5** 歳児の発達

関 幸信・兵頭恵子・高橋かほる / 監修
公益財団法人 幼少年教育研究所 / 編著

定価 2,750円 (本体 2,500円 + 税 10%)
ISBN978-4-8054-0326-6
26×21cm 176ページ

チャイルド本社 〒112-8512 東京都文京区小石川 5-24-21
TEL: 03-3813-2141 FAX: 03-3814-3392

感覚の扉をひらく魔法の板
KAPLA ブロック

有限会社アイ・ピー・エス (カブラジャパン)
TEL 03-5615-8315 ■KAPLA 事業部 東京都文京区小石川 5-24-21-101

2023年度より電子版も対応

『新版・遊びの指導』
(公財)幼少年教育研究所 編著
B5変/2色刷/400頁
定価3,520円(税込)
ISBN978-4-8103-0037-6

342項目1000種類の
“遊び”を年齢別・季節別に
まとめた集大成!

株式会社 同文書院 ご注文はお電話かHPより
TEL:03-3812-7777 FAX:03-3812-7792

みんなで作る園の未来!

保育ナビ 定価 1,200円
(本体 1,091円 + 税 10%)

園のリーダー、ミドルリーダーのための月刊保育雑誌です。

フレール館 〒113-8611 東京都文京区本駒込 6-14-9 電話 03-5395-6608

こどもたちのしあわせをねがう

ひかりのくに

本社 / 〒543-0001 大阪市天王寺区上本町3-2-14 TEL:06-6788-1151 代表
支社 / 〒175-0082 東京都板橋区高島平 6-1-1 TEL:03-3979-3111 代表

元気育てる こどもの空間づくり

株式会社 **環境デザイン研究所**
会長 仙田 満
〒106-0032 東京都港区六本木5-12-22
TEL:03-5575-7171 FAX:03-5562-9928
<http://www.ms-edi.co.jp>
幼保施設設計担当: 浅井 淳 (Mail: asai@ms-edi.co.jp)

心と言葉をつなぐ
～想いがふれあうコミュニケーション～



主催：公益財団法人 幼少年教育研究所

会場：国立オリンピック記念青少年総合センター
カルチャー棟 小ホール・センター棟
〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3番1号

開催：2024年3月28日(木)



9:15	9:45	10:00	12:00	13:15	15:15	15:40	16:40	
3月28日(木)	受付	開講式	基調講演	昼食休憩	分科会	休憩・移動	アトラクション	閉講式

●本講座は、幼稚園・認定こども園版キャリアアップ研修に該当します。
当研究所は、全国47都道府県より「処遇改善等加算Ⅱに係る研修の実施主体」の認定を受けています。

心と言葉をつなぐ ～想いがふれあうコミュニケーション～

ここ数年のコロナ禍で、コミュニケーション、心と言葉による伝え合いの重要性を実感しています。保育者が言葉を育み、子どもが自分の思いを伝える、そのことに共感しあうことは重要です。

子ども同士、保育者同士、子どもと保育者、保護者、まさにこの社会は、コミュニケーションによって成り立っています。

この社会をこれから担っていく子どもたちに自分の思いや意見を伝え合うことの大切さを育てていくことは益々重要になってくると思います。

今回の講座では、「コミュニケーション、心や言葉による伝え合い」に焦点を当てていきます。子どもとのコミュニケーションがより楽しく想いを伝え合い共感しあうことが出来ればより素晴らしい保育ができるのではないかと考えています。この時間が先生方にとって有意義な時間となり、保育に活かしていただければ嬉しく思います。

実行委員長 福山多江子

全体会

基調講演 10:00~12:00

俯瞰図番号 E2

保育を豊かに ~絵本でコミュニケーション~

子どもとおとなが、ともに育ちあう場所は、絵本がいちばんいきいきするところ。

「こう選んでこう読めばうまくいく」というノウハウではなく、ちいさい人たちが自分のいのちに照らして絵本と結びあう瞬間について考えてみましょう。



ノートルダム清心女子大学 教授
児童文学者・児童文学作家
村中 李衣 先生

アトラクション 15:40~16:40

俯瞰図番号 E2

絵本を読んでもらう喜び

絵本の最高の味わい方は、読み聞かせです。文章を読んでもらえば、絵をじっくり味わう時間が約束されるからです。本来、手の届く距離で読むのが理想ですが(笑)。

今日は絵本を映画のように、味わってもらいましょう。



絵本作家/講演家
間かせ屋。けいたろう 先生

分科会 13:15~15:15

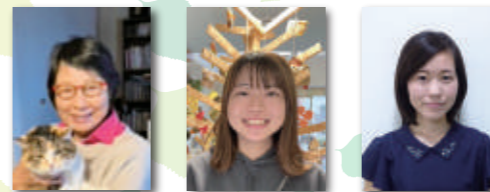
A (推奨講座 どなたでも参加可能) 俯瞰図番号 D1

『発達がわかると保育がおもしろくなる』 ～子どもを見つめ響きあう保育～

兵頭 恵子 先生 (公財)幼少年教育研究所 監事
喜多なな子 先生 認定こども園しらゆり 教諭
田中 愛弓 先生 富士見幼稚園 教諭

4月からの新たな園生活、どんなドラマが始まるのでしょうか。現場の先生から子どもの姿や園生活など保育現場のリアルを語っていただき、参加の先生方と共に子どもの育ちを読み解いていきましょう。そして“現場100回?”を実践されていた兵頭恵子先生に「子どもの理解と発達」や「保育がおもしろくなる秘訣」について語っていただきます。子どもを見つめた先にある響きあう保育を考えていきましょう。

*テキスト:『保育の事例で読みとく 3・4・5歳児の発達』
(チャイルド本社 令和6年2月刊)



兵頭恵子 先生 喜多なな子 先生 田中愛弓 先生

C (中堅経験者(推奨)講座) 俯瞰図番号 B6

『保育ファシリテーション』 — 保育の質を高めるチームづくり —

矢藤 誠慈郎 先生 和洋女子大学 教授

子どもの幸せな育ちのために、保育者が力を出し合いながら保育の質を高める組織文化を醸成していくことが大切です。この分科会では、この課題の解決に向けて、ファシリテーションに焦点を当てて考えていきます。



矢藤 誠慈郎 先生

B (フレッシュ講座) 俯瞰図番号 C2

『保育者として歩み出すために』 ～豊かなことばが育つ保育～

安見 克夫 先生 東京成徳短期大学 名誉教授
板橋富士見幼稚園 理事長・園長
大澤 洋美 先生 東京成徳短期大学 教授

保育者は、ことばによる様々なコミュニケーションを求められます。子どもと保育者、保育者と保護者が豊かに関わり合うためには、どのような知識と意識が必要なのでしょうか。素敵な保育者になるために、仲間と一緒に学び合みましょう!

第1部では、ことばによるコミュニケーションについて安見克夫先生にご講義をいただき、第2部では、ことば遊びを楽しみながらことばの育ちを考えていきます。



安見克夫 先生 大澤洋美 先生

D (支援児教育講座) 俯瞰図番号 D3

『心が寄り添うインクルーシブ保育とは』

守 巧 先生 こども教育宝仙大学 教授

どの子どもも大切にされ、集団で生活する心地よさを感じてもらいたいですね。そのためには、すべての子どもが過ごしやすい環境やわかりやすい保育が求められます。

心が寄り添えるインクルーシブな営み(保育)を具体的に考えていきます。



守 巧 先生